

目次

- カメラ探訪
大江天主堂……………2
- 特集
熊本県施設紹介……………3
- 明日の熊本～私の1,000字提言～
これからの家庭……………15
- ママさん特派員報告
県民総合運動公園……………16
- わが町わが村
天草郡大矢野町……………18
- 世界人権宣言35周年を迎えて……………20
- グラビア
熊本県畜産まつり……………22
- カラー熊本……………24
- グラビア
くまもとテクノポリスフェア'83開催 ……26
- くまもとの文化財
高浜焼……………30
- 告知板……………31
- この人と30分
山下真臣……………32
- 随想
伊東盛一さんのことども……………35
- ママさん特派員の県政ルポ
保育問題を考える……………36
- 県政トピックス……………40
- わたしの郷土
中央町……………42
- 目で見える県政
畜産業の統計・くらしの統計……………43



表紙説明

十月の声とともに人吉の人々は九日祭りの話題でもちきりとなる。神事は十月三日から始まる。祭りのハイライトは九日の御神幸である。
人吉市内の町内から参加する子供のみこしを先頭に出発し、猿田彦、赤、青の獅子、楯、飾りの弓矢、金幣、一の稚児、一のみこしと列が続き、最後に宮司がつく。
御神幸は昼には球磨川の中洲に着く。最近ではここで、鬼木の臼太鼓踊（県指定文化財）など郷土芸能の演技が披露される。

カメラ探訪



わが佳耦(とも)よ、いざともに野にいでて
歌はまし、水牛の角を吹け。
視よ、すでに美果実あからみて田にはまた足穂垂
れ、風のまに山鳩のごまきこゆ
角を吹け、いざさらば馬鈴薯の畑を越え、爪哇(シ
ヤワ)びとが園に入り、かの岡に鐘やみて燄の火の
消ゆるまで
無花果の乳をすすり、ほのぼのと
歌はまし、汝が頸の角を吹け。わが佳耦よ、鐘きこ
ゆ、野に下りて
葡萄樹の汁滴る邑を過ぎ、
いざさらば、パアテルの黒き袈裟はや朝の看経はて
しづしづと見えがくれ棕櫚の葉に消ゆるまで
北原白秋 詩集「邪宗門」より



▽明治四十年、北原白秋ら「新詩社」の五人は、長崎、天草のキリシタン探訪の旅に出た。一行は長崎港から富岡に向い、山道伝いに高浜を経て大江に到着、船で牛深へ出たが、この旅で彼らはキリシタン文学を発掘するきっかけを得たという。
▽北原白秋の生家は南関町にあり、当時の状況は「思い出」に記されている。
(写真は大江天主堂と生家)